

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with
Environmentally Progressive Companies.

「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、
高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：(株)オンワードホールディングス 様
開催場所：高知市土佐山高川地区（市有林）
「土佐山 オンワード“虹の森”」
開催日：令和元年6月4日、5日
参加者数：32名（オンワード榎山様、高知市、
高知市森林組合、高知県）



令和元年6月4日、5日の2日間、協働の森づくり事業の協定企業の(株)オンワードホールディングス様のグループ会社である、(株)オンワード榎山様が高知市で交流活動を行いました。今回は新入社員の方を中心に、東京や広島、愛媛、高知などからお越しいただきました。

1日目は木工教室を、2日目は間伐体験を行いました。



1日目の木工教室の様子と、できあがった作品の数々

<2日目、間伐体験の開会式の様子>



株式会社オンワード榎山環境経営推進部長の
中鉢様によるご挨拶の様子

開会式の後、車でさらに山奥に移動し、間伐作業を行う森林に入って行きます。作業道を少し歩いた後、間伐体験のポイントまで急斜面の道無き道を進みます。



5つの班に分かれ、それぞれに高知市森林組合の方が指導役としてつき、間伐を行いました。今回は、40年生くらいの大きな杉の木が育つ森林での作業でした。こんなに大きな木を切り倒す機会はなかなか無いと思いますので、貴重な体験だったのではないのでしょうか。木が「ドーン！」と倒れると、その迫力に歓声が上がりました。伐倒の様子を動画撮影し、後で自身の伐倒のフォームや動きを確認する方もいました。それも思い出になりますね。

作業の合間は、社員の皆様から、森林組合の方に「何年くらい林業をされているんですか?」、「どんな事が大変ですか?」と、質問タイムになっていました。協働の森の間伐体験を通して、林業という仕事を知り関心を持ち、林業で働く方と交流の機会が生まれるのは、素晴らしいことだと感じました。



↑ 太い幹をノコギリで切り進めますが、途中でギブアップ。何人かで交代しながら幹に受け口と追い口を作りました。普段使っていない筋肉を酷使したので、後で筋肉痛になったかもしれません…。



↑ 追い口を入れつつ、ハンマーでクサビを打ち込みました。クサビは、木を目的の方向に確実に倒すために、追い口から打ち込んで使われる道具です。カーン、カーン、とハンマーでクサビを打つ音が響き、打つ込むごとに、木が徐々に傾いていきます。



←クサビを使わない場合は、追い口を入れた後、木が倒れ始めるまで、手で押して伐倒方向に木を誘導します。



間伐を終えて、疲れたところで昼食です。地元のお店に用意していただいたお料理は、高知名物の田舎寿司やイタドリ、貝たくさん豚汁やお惣菜、旬のピウや小夏など、彩り豊かなおいしいお料理でした。昼食を食べながら、いろいろなお話をさせていただき、参加された皆様と交流が深まりました。

食事の後は、水のきれいな東川（鏡川の支流）を散策し、自然を満喫し、交流活動は終わりとなりました。

また来年もお待ちしております！

人が森を助ける。
森が人を助ける。

